

平成30年度 島根県学力調査結果及び分析・対策(松江市立第三中学校)

(1) 学力調査結果から見られた傾向

		成果と課題(○:成果、●:課題)	対策
1年	国語	○「話す・聞く」「読む」領域の正答率が県平均正答率を上回っている。 ●「書く」領域に弱さがある。	・自分の考えを短文やまとまった文章で表現する学習活動を積極的に取り入れるとともに、学習を振り返る際に、視点を明確にして書くようにする。 ・宿題や自主学習の課題を通して、漢字や語句などの基礎知識の確実な定着を図る。
	数学	○「数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートを書いている」という回答が80%を上回っている。 ●活用問題に弱さがある。	・授業の初めに短時間で既習内容を復習できる工夫をする。 ・グループワーク、ペアワークがより生徒のための活動になるよう工夫する。
	英語	○カテゴリーごとの平均正答率が県平均正答率より高く、指導の成果が表れている。 ●学習指導要領の領域等で、「読む」の平均正答率が少し低い。	・引き続き、生徒の英語力を上げられる授業づくりをする。 ・授業の中に教科書以外の英文を読む活動を取り入れる。
2年	国語	○「伝統的な言語文化と国語の特質」領域が県平均正答率を上回っている。 ●「書く」領域に弱さがある。	・新出語句を使って短作文を作ったり、条件に合わせて書く活動を取り入れたりする。 ・さまざまな文章に触れながら正確に読み取ることの重要さが意識できる学習活動を取り入れていく。
	数学	○「数と式」「図形」「資料の活用」領域が県平均正答率を上回っている。 ●「関数」領域に弱さがある。	・「図形」、「数と式」領域の学習においても関数として見たり、考えたりできるように工夫する。 ・身近な教材を取り上げるように工夫し、グループ活動などを活用して、自分の考えを説明する力をつけられるようにする。
	英語	○特に表現の能力(記述式)の正答率が高い。 ●「聞く」領域で県平均正答率より下回っている。	・新出語句・文法の定着のために繰り返し学習し、リスニング対策を継続的に行う。 ・効率よく「聞く」力を習得できるように、課題提示の仕方や教科書以外の音声教材を聞くなど工夫をする。

(2) 各学年・各教科の調査結果チャート

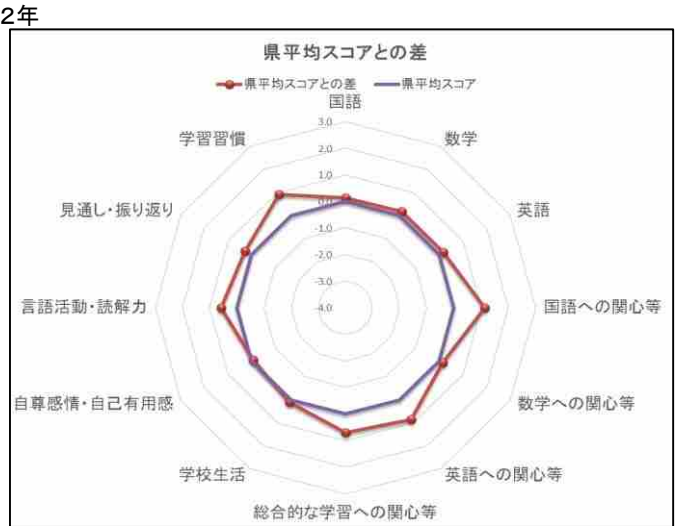


(参考) 平均正答率

		国語	数学	英語
1年生	本校	67	40	66
	松江市	68	41	65
	島根県	67	38	64

受検者数
1年生 72 人

各スコアの範囲は-4から+3までで、島根県のスコアは基準値の0となっています。
スコアが0より大きければ大きいほど、島根県よりも「当該教科で平均正答率が高かった」、あるいは「当該カテゴリで肯定的回答が多かった」という結果になります。



(参考) 平均正答率

		国語	数学	英語
2年生	本校	67	44	60
	松江市	67	43	58
	島根県	65	40	57

受検者数
2年生 85 人

(3) 生活・学習に関する意識調査から見られた傾向

平成31年2月15日

		成果と課題(○:成果、●:課題)	対策
1年	授業改善に関わる事項	○自分の考えを発表したり、話し合う活動をよく行ったりしているという回答が多く、授業に前向きに参加している生徒が多いといえる。 ●自分の考えがうまく伝わるように発表しているという問いに肯定的な回答をした生徒の割合が少ない。	・授業で発表する時に、まわりにうまく伝わるようにする発表の仕方を考えさせる。
	家庭学習に関わる事項	○家庭学習の時間が1時間以上確保され、学校での学習の復習をしている生徒の割合が県の平均を上回っている。 ●平日、携帯電話やスマートフォンを1時間以上使用している生徒の割合が多い。	・家で計画的に勉強ができるように、また携帯電話の使用時間について見直しを図るために、家庭での生活予定表等を作成して考えさせていく。メディアコントロールウィークに合わせて家庭との連携を図る。
2年	授業改善に関わる事項	○授業の中で目標を意識している。 ○グループで調べ学習をよくしており、話し合う機会がよくある。 ●最後に学習したことの振り返りができていると感じている生徒が5割強にとどまっている。	・友達の考えから得たことを振り返ったり、共有し合ったりさせ、何を学んだかが明確になるようにし、次にいかにするようにする。 ・振り返りによって定着が不十分である領域を見極め、授業や家庭学習での復習につなぐ。
	家庭学習に関わる事項	○家庭学習の時間が1時間以上確保され、学校での学習の復習をしている生徒の割合が県の平均を上回っている。 ●家庭学習に計画的に取り組み、予習や復習をしている生徒が5割強にとどまっている。	・「家庭学習のてびき」を使って、指導を行い、生徒の意識を高めながら、家庭と連携することで計画的に内容がより良いものになるようにする。 ・学習の定着が不十分な領域を生徒が自主的に復習できるよう、各教科担当から効果的な学習の仕方を示す。

(4) 生活・学習に関する意識調査の結果

